





幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL: 080-5137-4539
https://twitter.com/yokogaugoku
http://honda-yoko.com/

幸せの手

本田ようこ後援会


今期 4 年間の締めくくりとして、防災関係の一般質問を取りまとめ、進捗状況を伺いました

1 災害時要支援者の個別計画書

災害発生時に一人で避難することが難しい人などの支援のため、提出いただいたデータの名簿活用の手引き作成へと前進しました。

2 自主防災の組織率

令和4年に 63.4%となり向上を図る。
(本田は考える) 災害はいつ来るかわかりません。自主防災組織がない場合でも、防災は不可欠です。全体の対策を進めることも必要と思います。



3 市の助成で取得した防災士



防災士を育成するだけでなく、市として活かすために、横の連携、研修、訓練の必要性を問い、3月に研修会が開催されました。

4 災害時の市ホームページの表示方法

災害情報が市ホームページのトップ画面ですぐわかるように改善を求め、対応しました。

5 避難場所・避難所の設営、運営等の協力

職員の担当（運営班）を明らかにし、地域との調整を進めていきたい。

6 幸手市地域防災計画の見直し

2019年3月の計画が、同年秋の台風により想定外の状況となり見直しを要望し、現在、改定を行っている。

7 広報車運行の防災関係マニュアル

現在、未作成ですが、災害時には有効な情報伝達手段なので、検討をしたい。

8 各避難場所における担当職員の配置と施設との協議


担当職員がすべての指定避難場所を訪問し、使用できる部屋や備品等の確認を毎年度実施します。

9 自治体や企業等の応援協力締結

災害時応援協定は迅速で的確な対応を実施するために必要です。現在 42 の応援協力を締結している。今後積極的に進めていきたい。
(本田は考える) 他市と比べると少ない、市内業者を中心として、どんどん進めるべきです。

10 全職員に防災ヘルメット

全職員には至っていない。今後順次進めていきたい。
(本田は考える) 本庁舎は耐震がなされていません。そこに働く職員にヘルメットがないとは許されるのか、強く要望しました。



他にも、避難時の赤ちゃん対策として「液体ミルク」の備蓄、高齢者の血栓予防対策として「段ボールベッド」の備蓄、感染症防止対策として「パルスオキシメーター、非接触体温計、次亜塩素酸」の備蓄を、また、コロナ禍には自宅療養の方々を救うため「自宅療養パック」の早期配布を実現させました。また、高齢者対策として、市公共施設の男子トイレに「サニタリーボックス」設置、日頃の防災啓発には「浸水深の電柱表示」など数多く実現しました。



令和4年度

幸手の子どもたちは頑張りました。おめでとうございます

☆ 幸手市立さくら小学校 6年生

令和4年度防犯ポスター小学生高学年の部 優秀賞
税に関する絵はがきコンクール 佳作

☆ 幸手市立さくら小学校 1年生

令和4年度交通安全ポスター小学校低学年の部 佳作

☆ 幸手市立八代小学校 5年生

令和4年度明るい選挙啓発ポスター 埼玉県入選

★ 幸手市立さくら小学校

令和4年度全国学校体育研究優良校表彰
税に関する絵はがきコンクール 優秀協力校

★ 幸手市立幸手小学校

令和4年度埼玉県学校緑化コンクール 優良校

★ 幸手市立さかえ小学校

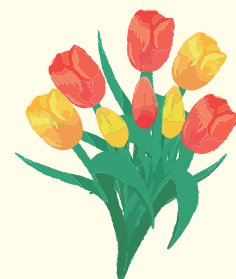
令和4年度埼玉県学校保健優良学校表彰

★ 幸手市立行幸小学校

令和4年度埼玉県学校給食優良学校表彰

★ 幸手市立八代小学校

令和4年度埼玉県学校安全努力学校表彰



幸手市内循環バス1日乗車券で
杉戸町巡回バスあいあい号にも
乗車できます！



幸手市のマスコット
キャラクター
さっちゃん

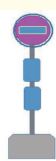
同日であれば1日乗車券を提示することで、新たに
運賃を支払うことなく杉戸町巡回バスあいあい号を
ご利用できます。



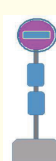
杉戸町のマスコット
キャラクター
すぎびよん

幸手市内循環バス

杉戸町あいあい号



東埼玉総合病院に幸手市（中央コース）
杉戸町（東・西・南コース）の停留所
があります。



詳しい運行内容は
幸手市・杉戸町のホ
ームページをご覧
ください。



幸手市内循環バス運行案内
QRコード



杉戸町巡回バスあいあい号
QRコード

お問い合わせ / 幸手市役所 市民協働課 ☎ 0480-43-1111

4年まとめて編集後記

2019年10月台風19号により、河川氾濫の怖さを知らされ、日頃の防災の大切さを痛感しました。その時に私が出来ることは、あの暴風雨の中、市役所に駆けつけ、始めたばかりのツイッターで一晩中市の動向や情報を伝えるだけでした。しかし、その体験はたくさんの防災に関する気づきをもたらし、防災の前進に繋がりました。次の年にはコロナ禍となり、感染症の恐ろしさを知らされ、マスク着用、3密（密接・密集・密閉）の回避、こまめな手洗い・手指消毒、新型コロナワクチン接種など、世の中が一変しました。皆様にお会いすることも出来なくなりましたが、必要な情報などを本田ようこ通信「幸せの手」でお伝えすることは出来ました。またその間に、私事ではありますが、早稲田大学受験を試みました。お陰様で合格し、習いたてのデータを使って情報をお知らせすることも出来るようになりました。

この4年間も通信を発行し、現在60号を越えました。議員になる前からなので、16年となりました。発行を重ねると、少しでも市民のみなさまの役に立つ情報をお知らせしたいという思いでいっぱいになりました。ここまで続けられたことを、市民の皆様へ感謝申し上げます。

まだまだみなさまと一緒に、幸手の未来に向けて確実な光を「幸せの手」で掴みたいと思い、励んでまいります。

2023年4月 本田ようこ